

「日本の次世代リーダー養成塾」の概要

「日本次世代リーダー養成塾」は、地方自治体や経済界などが中心となり、高校生を対象に世界的な視野で行動できるリーダーの育成を目指した2週間のサマースクールです。

塾開催中は、国内外で活躍する一流の講師陣による知的好奇心を湧かせる講義をはじめ、ビジネスの最前線や国際社会の現状など実体験に基づいた講義、塾生同士の活発なディスカッションなどが行われます。塾生たちは、自己表現力やコミュニケーション能力の向上、そして学問の楽しさを学び、夢に向かって挑戦する心を養います。

・第13回「日本の次世代リーダー養成塾」の概要

開催期日 平成28年7月24日（日）～8月6日（土）

開催場所 グローバルアリーナ（福岡県宗像市）

波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市）

※自然の家は7月27日（水）～7月29日（金）の2泊3日

参加者 194名（うち岐阜県推薦枠11名）

・参画県推薦枠 121名

（岐阜県、北海道、青森県、岩手県、静岡県、和歌山県、愛媛県、福岡県、佐賀県、福岡県宗像市、同県古賀市、沖縄県うるま市）

・全国からの一般公募枠 49名

・熊本地震被災地特別枠 7名

・アジア奨学生 17名

参加費 12万5千円（現地での食費、宿泊費等を含む）

県推薦枠の塾生には中部国際空港から福岡空港までの往復旅費を助成

・岐阜県との関わり

岐阜県知事が「日本の次世代リーダー養成塾」の理事に就任。

岐阜県は本事業に負担金を拠出しており、推薦枠が付与される。

塾長 榑原定征 一般社団法人日本経済団体連合会会長

塾長代理 榑原英資 青山学院大学教授

筆頭理事 小川洋 福岡県知事

理事 参画県の知事（岐阜、北海道、青森、岩手、静岡、和歌山、愛媛、福岡、佐賀）

各経済界の代表等

・カリキュラム概要

① 各界を代表する講師陣による講義

- ・教養系（哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など）

日本や世界を代表する講師が高校生に知的好奇心を湧かせる講義をする。

- ・ビジネス系（日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど）

世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝える。

- ・国際系（国際問題や外交、国連やNGO活動への理解）

世界に目を向け、日本人としてのアイデンティティを持ち、国際舞台で活躍できる力をつける。

- ・人間学（将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など）

人生の先達が21世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語る。

② 講義後のディスカッション

講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約30名によるグループディスカッションを行う。

（クラス担任は日本を代表する企業の中堅社員）

③ プロジェクト型企画「アジア・ハイスクール・サミット」

アジア諸国から20人程度高校生を招待し、2週間を通して次世代のよりよい関係構築に向けた議論を行い、具体案を提言する「アジア・ハイスクール・サミット」を開催する。

④ フィールドトリップ

- ・有田焼創業400年を記念し、佐賀県有田町を訪れ、佐賀県九州陶磁文化館や窯元などの見学、絵付け体験を行い、日本の伝統文化やその継承、地場産業あり方について考える。
- ・佐賀県立名護屋城博物館で当時の貴重な資料や遺産を見学し、日本と朝鮮半島間の歴史を学ぶ。

・第13回岐阜県推薦枠スケジュール

4月6日（水）～ 岐阜県推薦枠塾生募集

5月9日（月）

5月13日（金） 第一次選考（書類選考）

5月29日（日） 第二次選考（面接選考）、岐阜県推薦枠塾生候補者の決定

6月10日（金） 岐阜県推薦枠塾生決定

7月10日（日） 事前オリエンテーション

7月24日（日）～ 第13回日本の次世代リーダー養成塾

8月6日（土）

10月23日（日） 岐阜県推薦枠塾生報告会